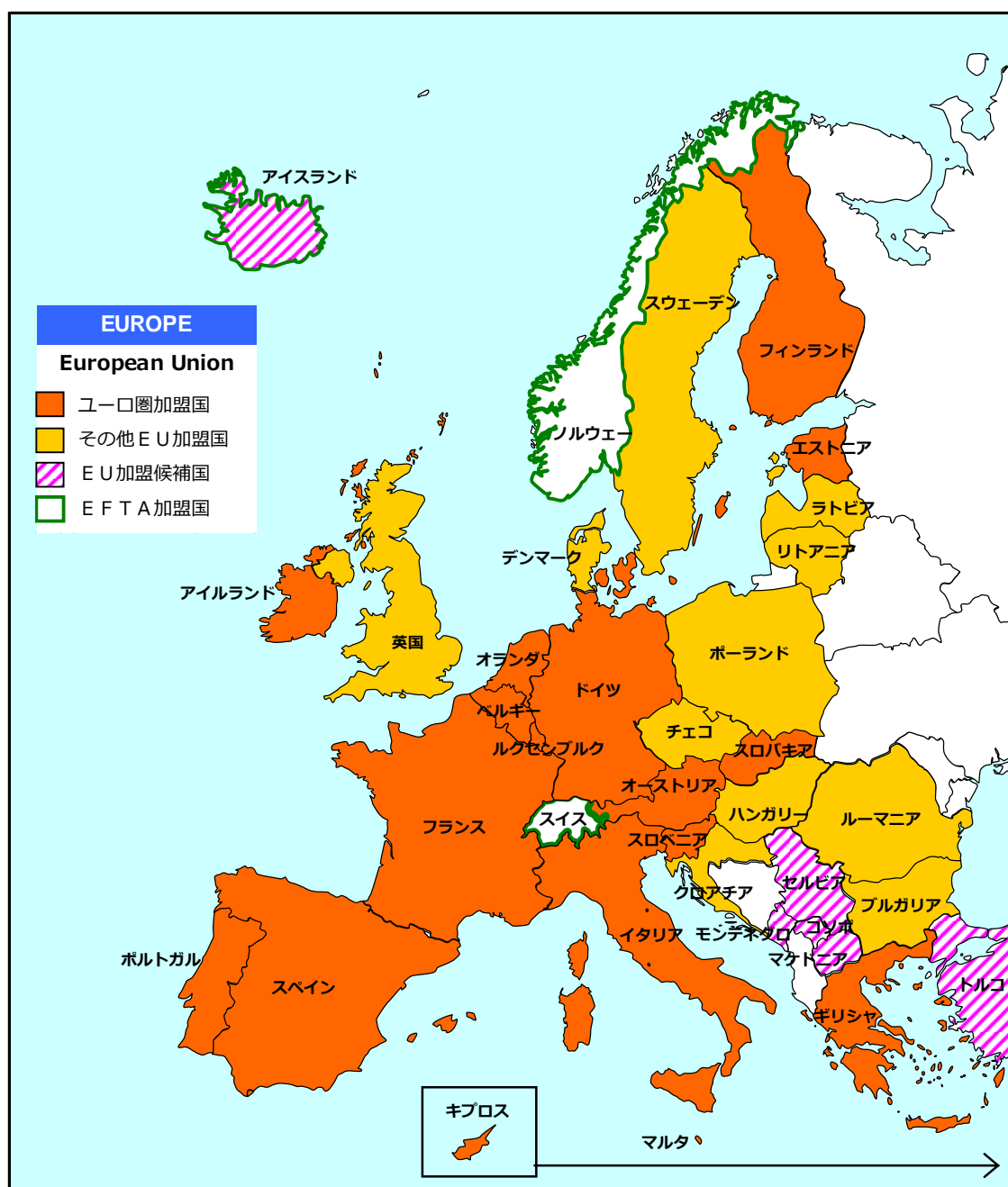


2013年9月20日 全13頁

欧州経済アップデート (2013.9)

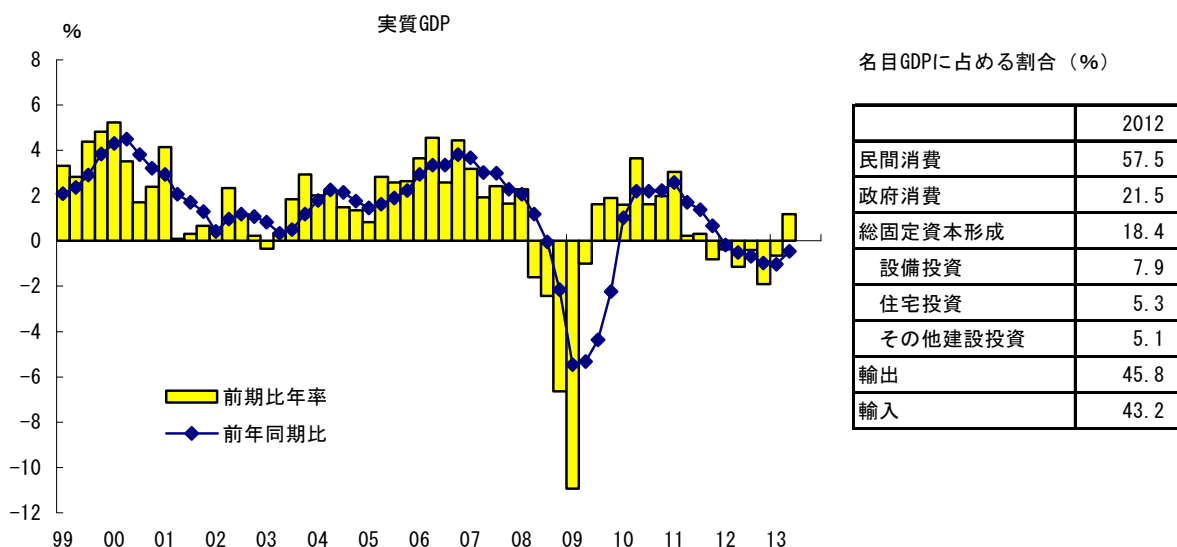
経済調査部
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 13年Q2のGDP成長率（2次推計）は前期比+0.3%と速報から変わらず
- ドイツ、フランスの牽引により、個人消費は同+0.2%と7四半期ぶりのプラス成長に転換。総固定資本形成は9四半期ぶりのプラス成長
- 総固定資本形成の内訳では、設備投資及び住宅投資がそれぞれ7四半期、9四半期ぶりにプラス転換。その他建設投資は減少幅が大きく縮小した



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2
実質GDP	0.4	0.9	0.4	0.5	0.8	0.1	0.1	-0.2	-0.1	-0.3	-0.1	-0.5	-0.2	0.3
個人消費	0.1	0.2	0.3	0.5	0.2	-0.5	0.3	-0.7	-0.4	-0.6	-0.1	-0.5	-0.2	0.2
政府消費	-0.4	0.2	0.1	-0.0	-0.1	0.1	-0.3	0.2	-0.3	-0.3	-0.2	0.1	-0.0	0.4
総固定資本形成	-0.2	1.7	0.2	-0.5	2.4	-0.8	-0.2	-0.5	-1.1	-1.9	-0.4	-1.2	-2.2	0.3
設備投資	2.2	2.9	1.4	0.9	2.1	0.0	0.5	-0.8	-0.7	-2.0	-0.5	-1.0	-2.2	0.5
住宅投資	-0.8	1.7	-0.8	-1.6	2.8	-1.1	-0.9	-0.5	-0.5	-1.6	-0.2	-1.5	-1.6	0.7
その他建設投資	-3.1	0.0	-0.5	-1.4	2.4	-1.6	-0.5	-0.2	-2.2	-2.0	-0.4	-1.3	-2.9	-0.5
輸出	3.2	4.3	1.9	2.4	1.7	0.3	1.2	0.3	0.8	1.1	0.6	-0.5	-1.0	1.6
輸入	3.5	4.2	1.3	1.9	1.5	-0.2	0.5	-1.2	-0.0	-0.2	0.2	-0.9	-1.1	1.4

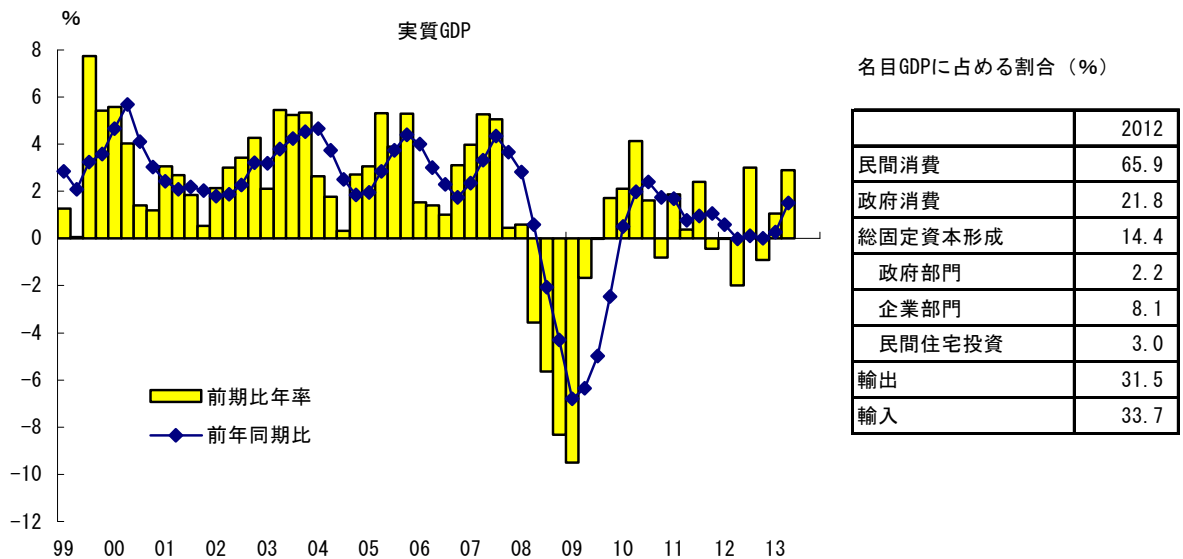
ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2
実質GDP	0.40	0.90	0.41	0.49	0.76	0.05	0.08	-0.21	-0.10	-0.28	-0.10	-0.48	-0.16	0.29
個人消費	0.07	0.14	0.17	0.28	0.1	-0.29	0.15	-0.37	-0.21	-0.33	-0.04	-0.26	-0.12	0.10
政府消費	-0.09	0.04	0.02	-0.00	-0.03	0.02	-0.07	0.04	-0.07	-0.06	-0.04	0.02	-0.00	0.09
総固定資本形成	-0.05	0.32	0.04	-0.09	0.44	-0.14	-0.04	-0.10	-0.20	-0.35	-0.08	-0.22	-0.40	0.05
設備投資	0.17	0.24	0.12	0.07	0.18	0.00	0.04	-0.07	-0.06	-0.17	-0.04	-0.09	-0.18	0.04
住宅投資	-0.04	0.09	-0.04	-0.09	0.15	-0.06	-0.05	-0.02	-0.03	-0.09	-0.01	-0.08	-0.08	0.04
その他建設投資	-0.16	0.00	-0.03	-0.07	0.12	-0.08	-0.02	-0.01	-0.11	-0.10	-0.02	-0.06	-0.13	-0.02
在庫変動	0.54	0.28	-0.10	0.07	0.17	0.25	-0.26	-0.38	0.02	-0.08	-0.15	-0.15	0.36	-0.12
輸出	1.24	1.76	0.81	1.02	0.73	0.14	0.52	0.13	0.35	0.48	0.29	-0.25	-0.46	0.75
輸入	-1.33	-1.64	-0.52	-0.78	-0.62	0.09	-0.22	0.49	0.01	0.07	-0.07	0.37	0.43	-0.55
純輸出	-0.09	0.12	0.28	0.25	0.11	0.22	0.30	0.62	0.36	0.55	0.22	0.12	-0.03	0.20

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 GDP

- 13年Q2のGDP成長率（2次推計）は前期比+0.7%と速報からわずかに上方修正
- 伸び率は鈍化したものの、個人消費は同+0.3%と7四半期連続のプラス成長。輸出、輸入はともに3四半期ぶりにプラス成長に転換
- 総固定資本形成のうち、企業部門は同+0.9%と3四半期ぶりのプラス成長。民間住宅投資は2四半期連続のプラス成長となった



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2
実質GDP	0.5	1.0	0.4	-0.2	0.5	0.1	0.6	-0.1	-0.0	-0.5	0.7	-0.2	0.3	0.7
個人消費	-0.8	1.5	-0.0	0.4	-1.1	0.0	-0.1	0.6	0.1	0.6	0.2	0.4	0.5	0.3
政府消費	-0.3	0.5	-0.1	-0.1	-0.1	0.1	-0.4	0.4	2.7	-0.9	0.9	0.8	0.1	0.9
総固定資本形成	5.9	-1.7	4.1	-3.8	-4.8	6.5	-1.1	-1.2	4.1	-2.1	-1.6	-4.9	0.2	1.7
政府部門	-4.1	-6.2	4.0	-2.2	0.0	-13.3	5.1	-4.8	12.3	1.4	-9.1	2.4	-6.0	7.5
企業部門	10.5	-10.1	8.6	-5.2	-5.3	12.3	-3.5	-1.2	2.7	-1.2	3.1	-6.2	-1.2	0.9
民間住宅投資	23.8	18.5	-4.6	-0.2	-6.5	6.2	7.8	1.1	2.8	-7.9	-8.6	-7.2	9.0	3.5
輸出	0.3	4.0	0.3	2.6	3.8	-5.2	1.1	4.7	-1.7	-0.6	1.9	-1.9	-0.1	3.6
輸入	1.9	2.7	2.5	1.1	-2.6	-0.7	1.0	1.1	0.4	1.6	0.6	-1.0	-2.0	2.5

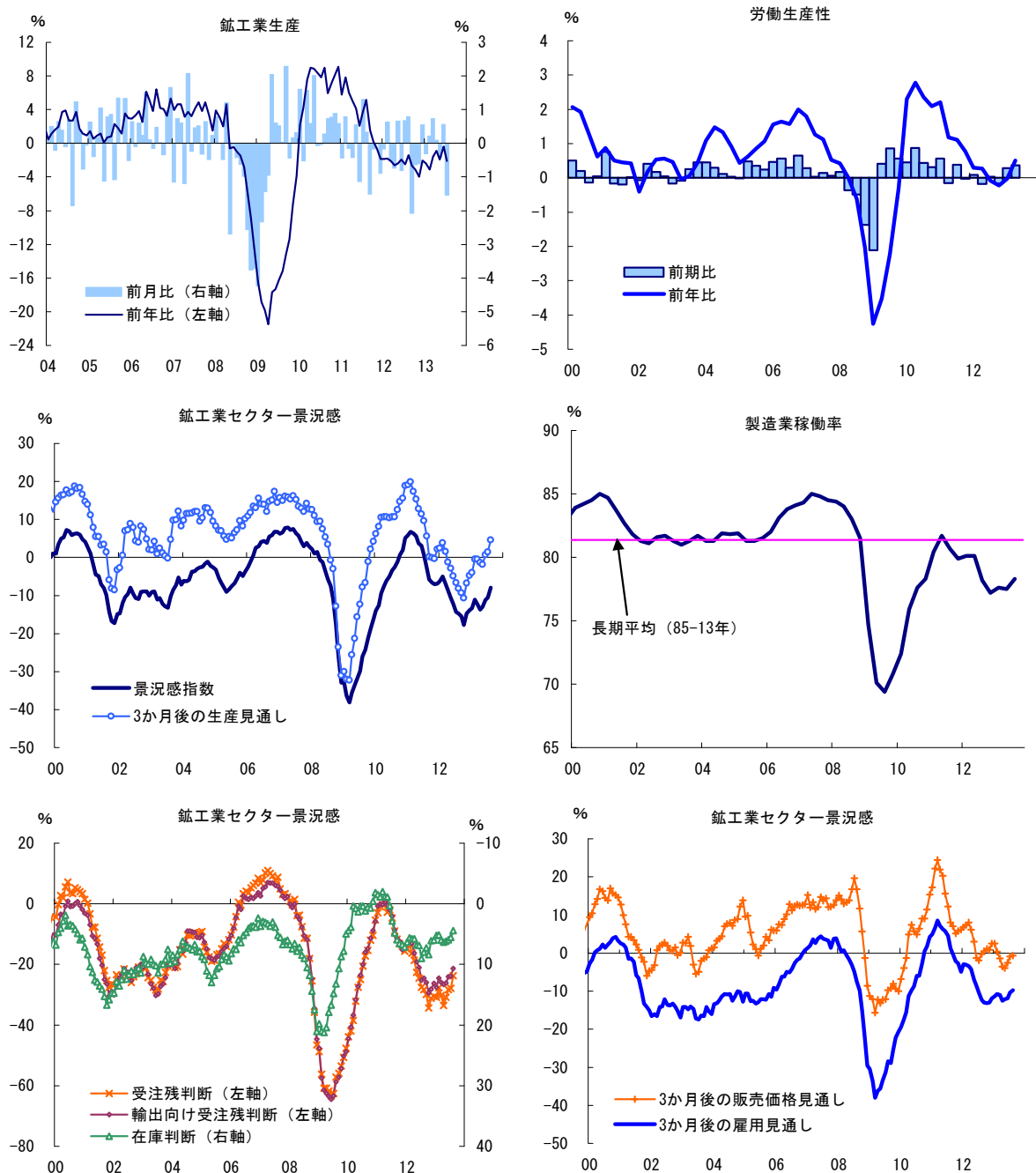
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4	13Q1	13Q2
実質GDP	0.53	1.02	0.40	-0.20	0.47	0.10	0.60	-0.11	-0.01	-0.50	0.74	-0.23	0.27	0.72
個人消費	-0.50	0.95	-0.00	0.26	-0.74	0.01	-0.09	0.35	0.06	0.35	0.13	0.25	0.34	0.17
政府消費	-0.07	0.11	-0.03	-0.02	-0.01	0.03	-0.10	0.10	0.60	-0.21	0.20	0.18	0.02	0.21
総固定資本形成	0.85	-0.26	0.60	-0.58	-0.70	0.90	-0.16	-0.17	0.59	-0.31	-0.24	-0.71	0.02	0.23
政府部門	-0.11	-0.16	0.10	-0.05	0.00	-0.32	0.11	-0.10	0.26	0.03	-0.22	0.05	-0.13	0.16
企業部門	0.83	-0.88	0.67	-0.43	-0.42	0.92	-0.29	-0.10	0.22	-0.10	0.26	-0.51	-0.09	0.07
民間住宅投資	0.55	0.52	-0.15	-0.01	-0.20	0.18	0.24	0.04	0.09	-0.27	-0.28	-0.21	0.24	0.10
在庫変動	1.07	-0.07	0.53	-0.29	-0.09	0.60	0.94	-1.46	-0.39	0.45	0.32	0.33	-0.74	-0.27
輸出	0.10	1.18	0.08	0.77	1.16	-1.67	0.32	1.43	-0.55	-0.18	0.59	-0.62	-0.04	1.11
輸入	-0.60	-0.84	-0.80	-0.35	0.85	0.23	-0.32	-0.36	-0.13	-0.51	-0.21	0.35	0.65	-0.81
純輸出	-0.50	0.34	-0.72	0.42	2.01	-1.44	0.01	1.08	-0.68	-0.69	0.39	-0.27	0.61	0.30

注：英国統計局の基準改定により、企業部門と民間住宅投資が遡及して修正された（13年Q1の第3次推計で発表）。新基準では、従来含まれていた経済的価値を生み出さない既存の建造物や土地などの譲渡に関する費用が除外されている
出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 7月の鉱工業生産は前月比-1.5%と12年9月以来の大幅減。前年比は-2.1%。資本財の減少が大きく響いた
- 8月の鉱工業セクター景況感は4か月連続の前月比改善。構成要素である3か月後の生産見通しの改善が目立つ。受注残判断と在庫判断も前月比で改善し、改善傾向が明確となった
- 13年Q2の労働生産性は前期比+0.4%と2四半期連続のプラス。前年比は+0.5%と1年ぶりのプラスとなった

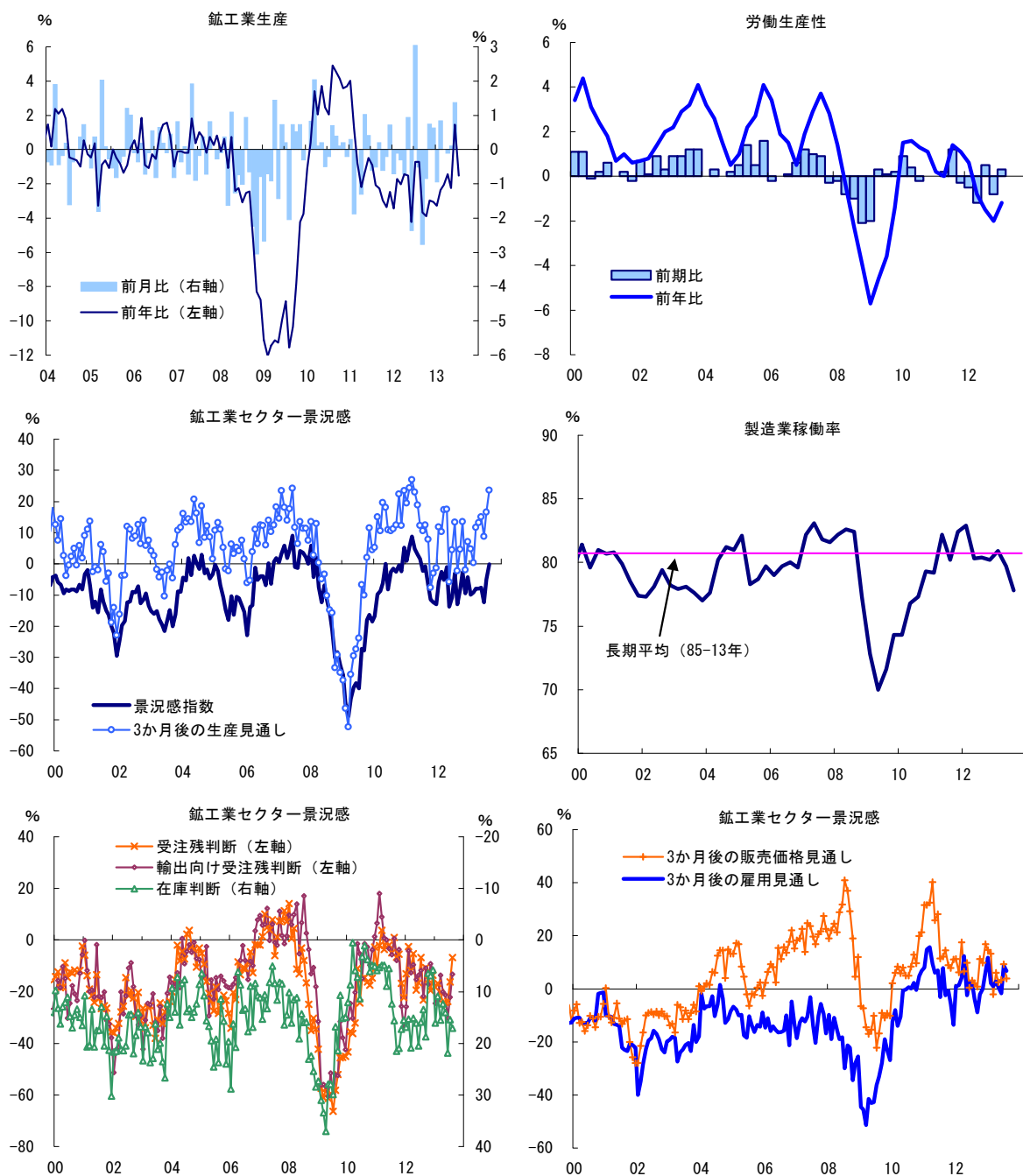


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 7月の鉱工業生産は前月比横ばい。6月の稼働日増加によるプラス成長からの反動減で、前年比は-1.6%と再び減少に転じた
- 8月の鉱工業セクター景況感は2か月連続の前月比改善。3か月後の生産見通しが大幅に改善。受注残判断も改善した
- 一方、3か月後の雇用見通しや販売価格見通しの改善はストップ

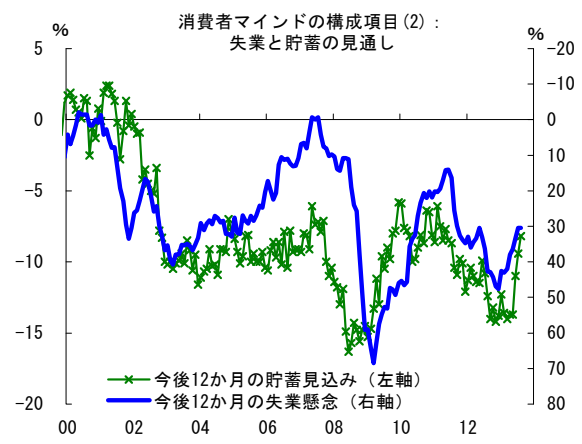
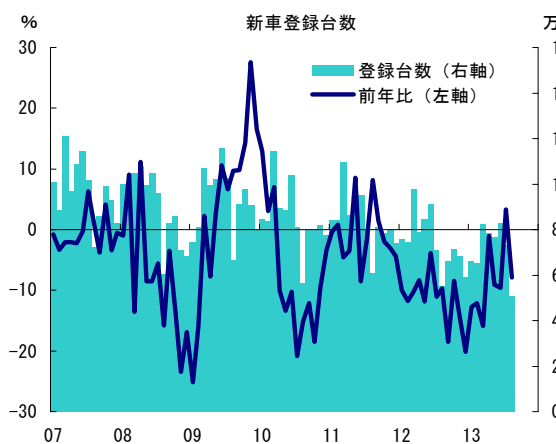
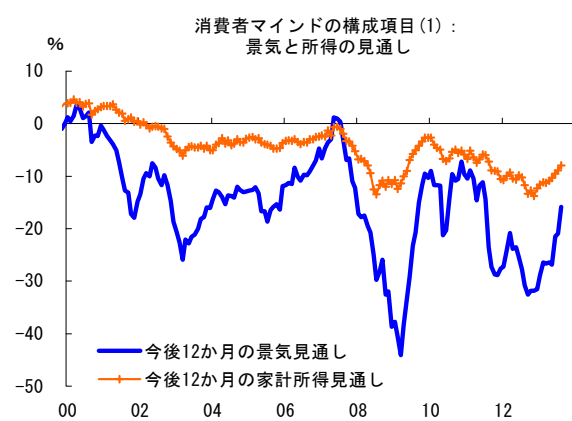
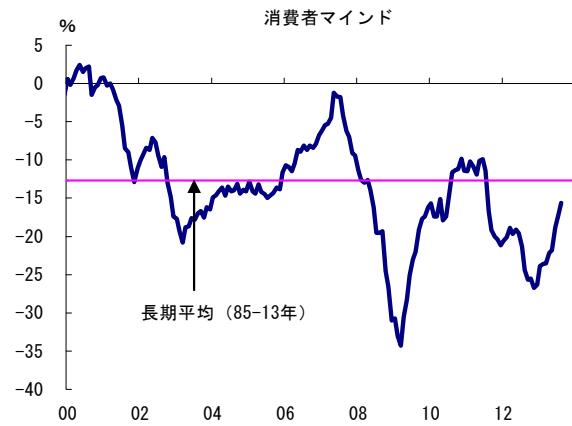
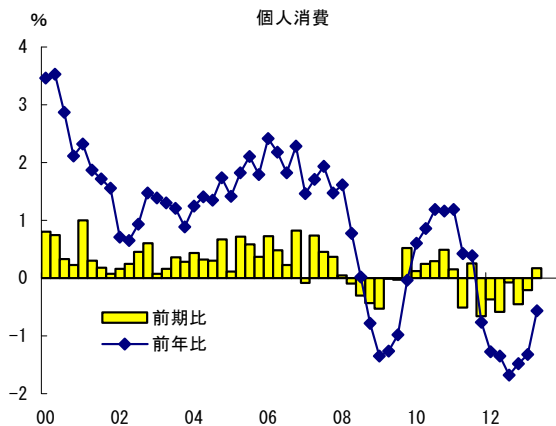


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 13年Q2の個人消費は、前期比+0.2%と7四半期ぶりのプラス成長となった
- 7月の小売売上高は前年比-1.3%と2か月連続の前年割れ。非食品（除く燃料）セクターの伸びが更に鈍化。8月の新車登録台数は7月の前年比プラスから再び同-7.9%に転じた
- 8月の消費者マインドは9か月連続の前月比改善。今後12か月の景気見通しの改善が顕著

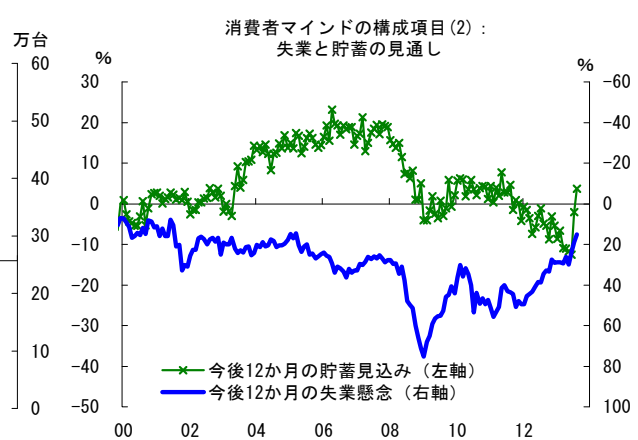
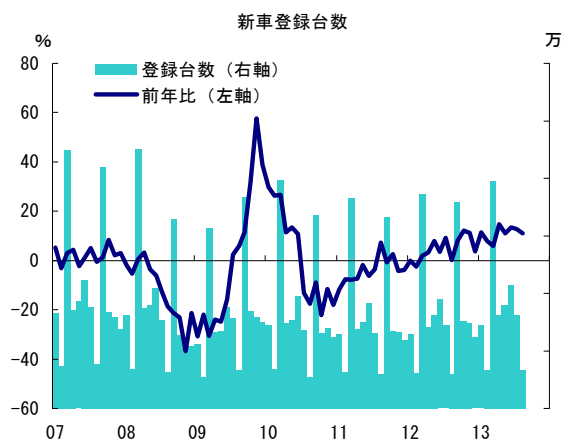
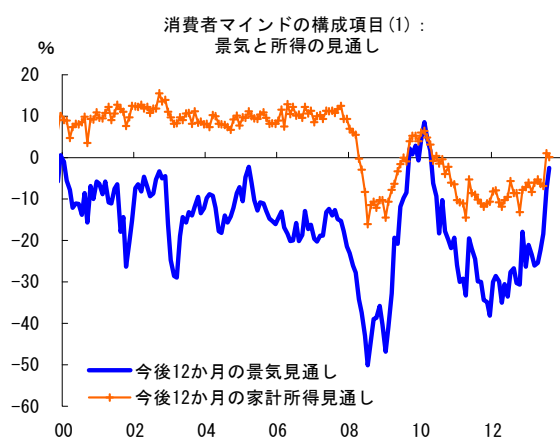
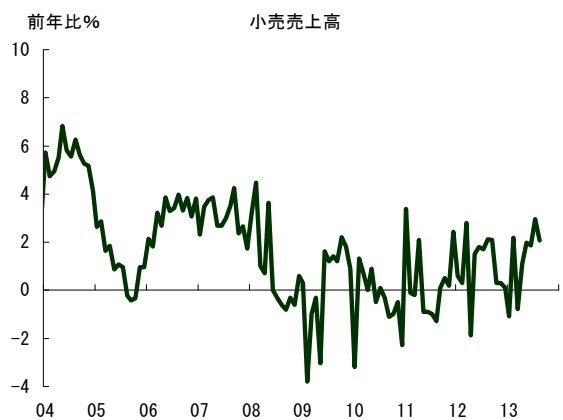
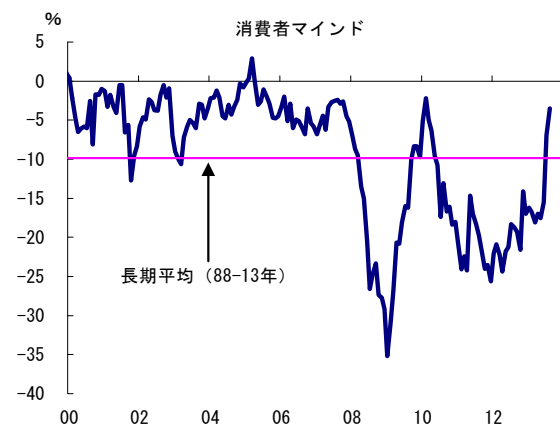
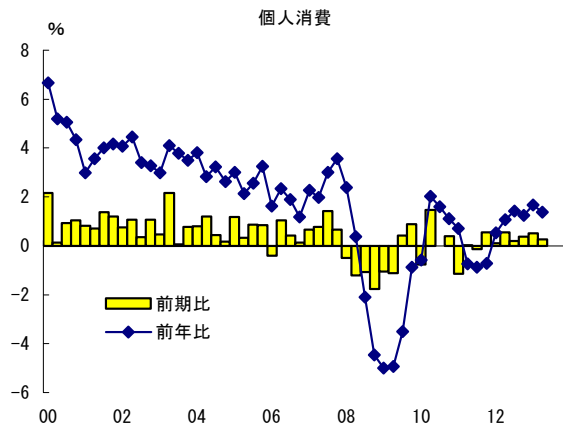


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 8月の小売売上高は、食品セクターの前年割れにより前年比+2.1%と伸び率鈍化。無店舗セクターの好調は継続
- 新車登録台数は7月に前年比+12.7%、8月に同+10.9%と力強い伸びを継続
- 8月の消費者マインドは前月比で大きく改善し、10年2月の水準まで回復

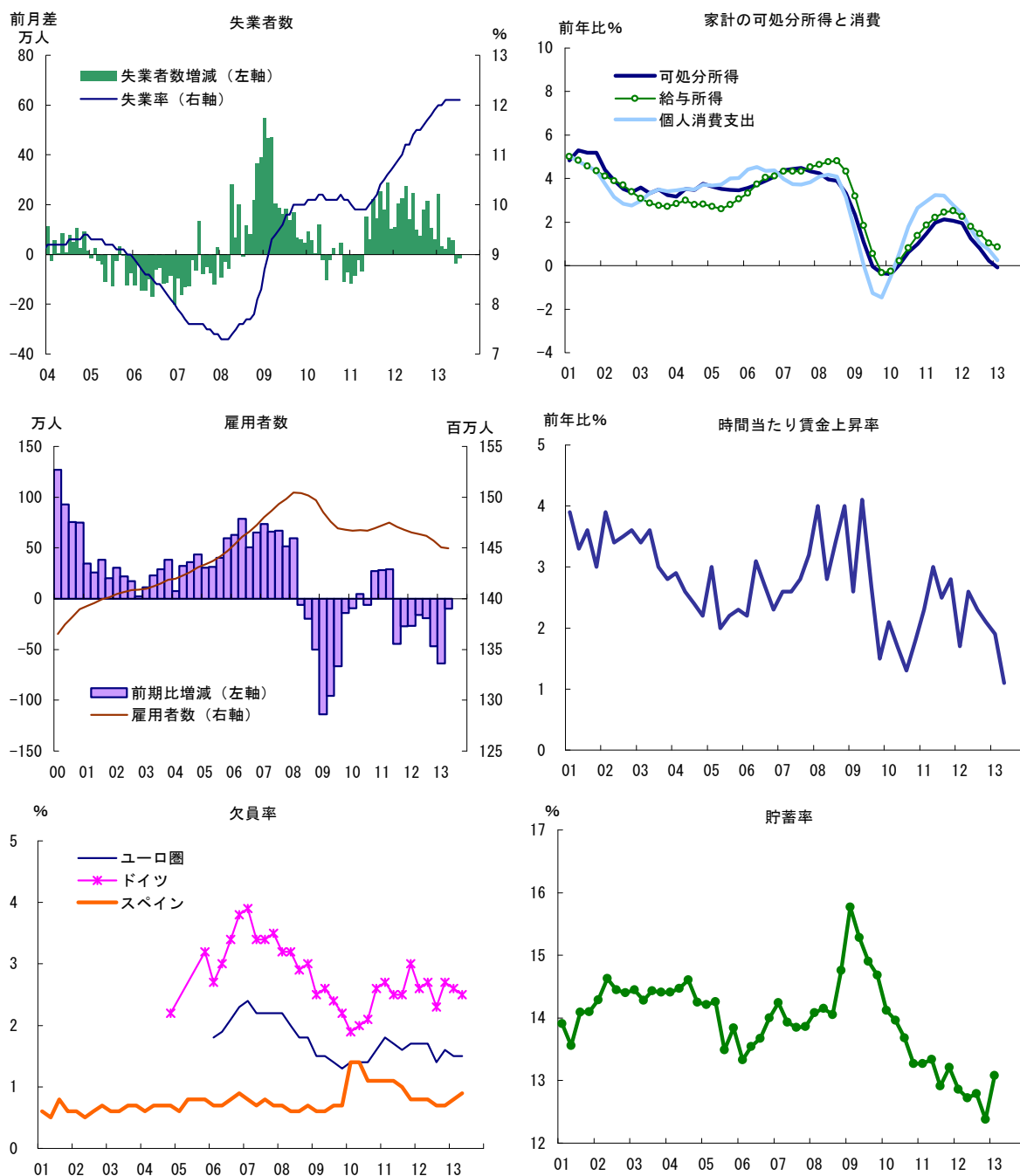


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 7月の失業者数は前月比-1万5千人となり、2か月連続の減少となった。25歳未満の失業者の減少が大きく貢献
- 主に建設業での雇用者減少により、13年Q2の雇用者数は前期比-10万人と8四半期連続の減少となったが、減少人数は大幅に縮小
- 13年Q2の時間当たり賃金上昇率は+1.1%と伸び率が大きく低下。4四半期連続の減速

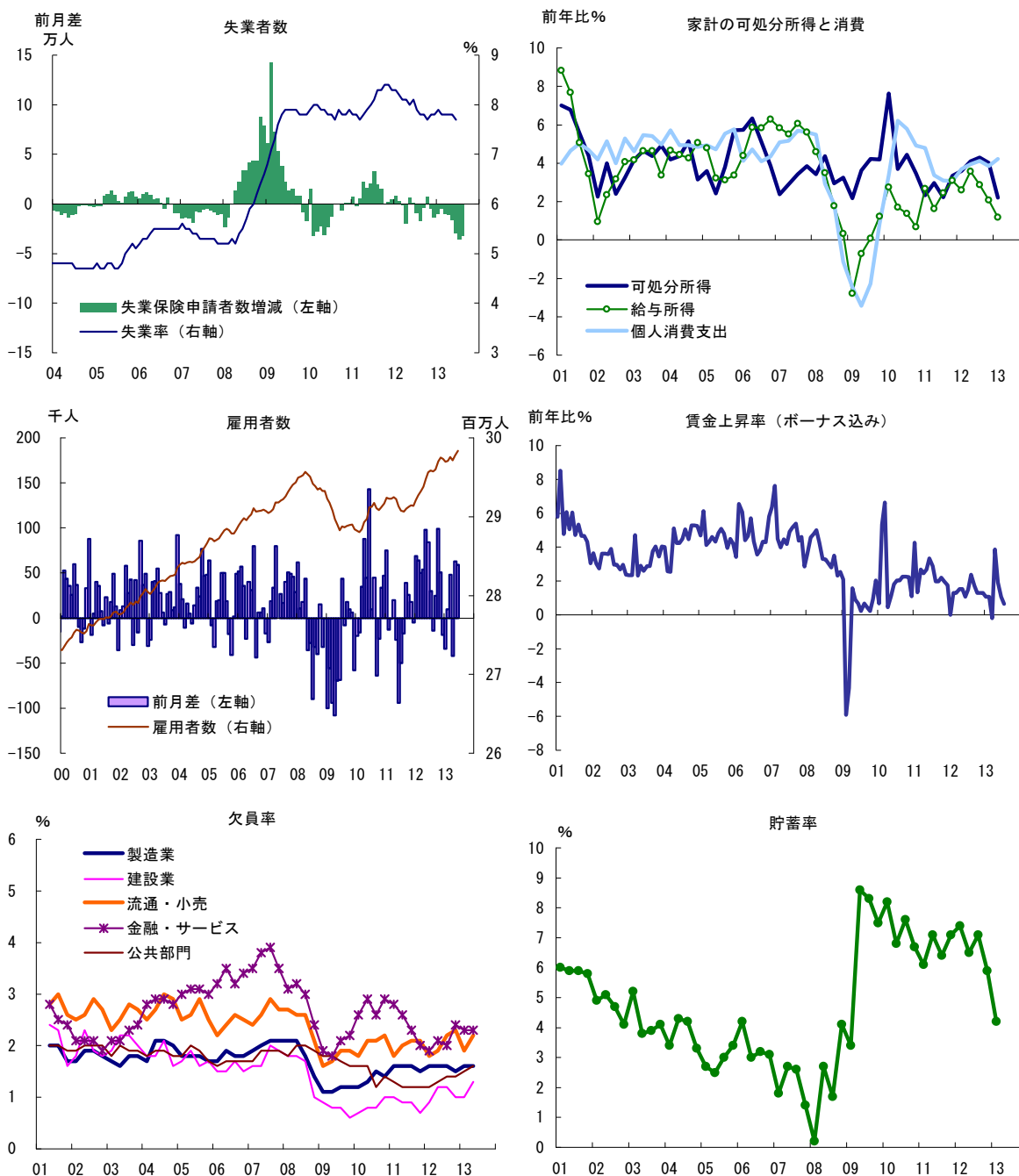


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 5-7月の雇用者数は4-6月比5万9千人の増加となり、失業率は7.7%に低下。労働力人口は増加したが、失業者は減少した
- 25歳未満の雇用者に限っても、雇用者は増加、失業者は減少に転じている
- 7月の賃金上昇率は前年比+0.6%。建設セクターでの賃金上昇率の低下が続く

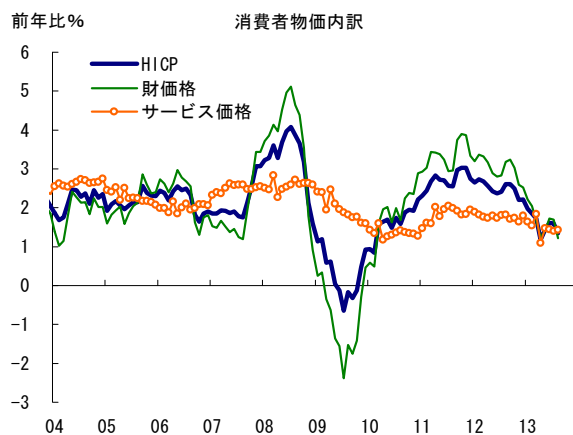
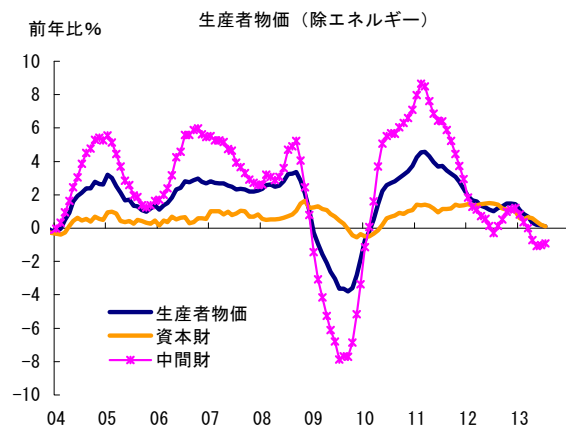
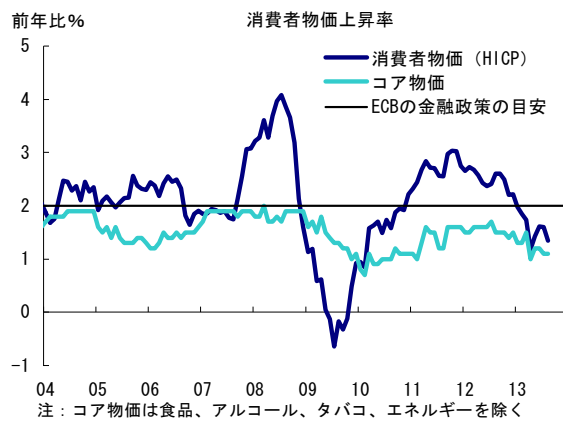


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

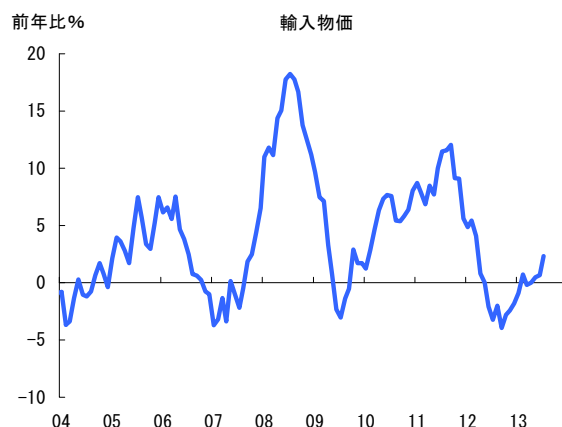
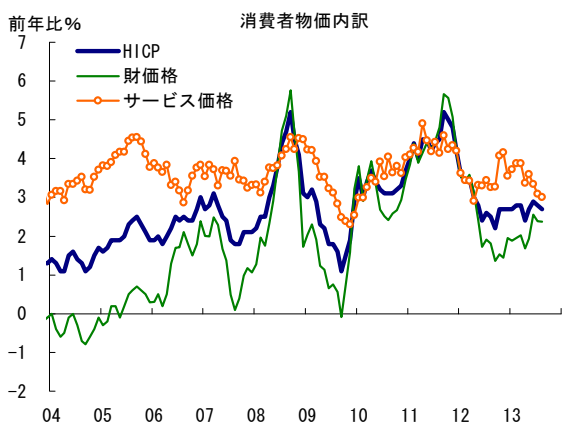
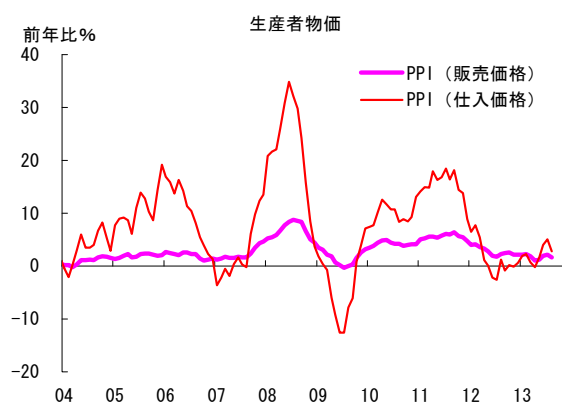
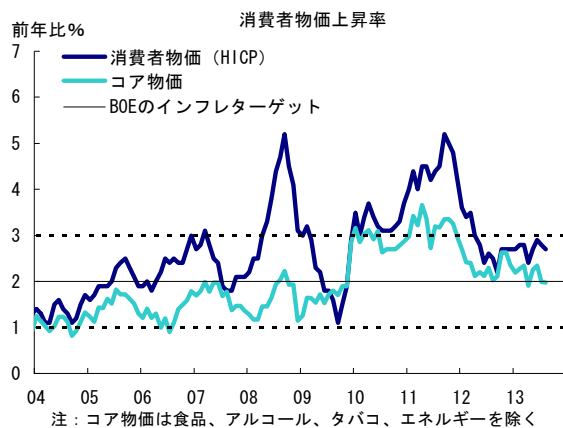
- 8月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.3%となり、再び伸び率低下。内訳を見ると、エネルギー価格が前年割れに転じ、通信サービス価格も前年割れが継続
- 7月の生産者物価は前年比+0.1%。中間財は前年割れが続く
- 7月の独輸入物価は前年比-2.6%。8月のユーロの名目実効為替レートは上昇、原油価格（北海ブレント）も上昇傾向に



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

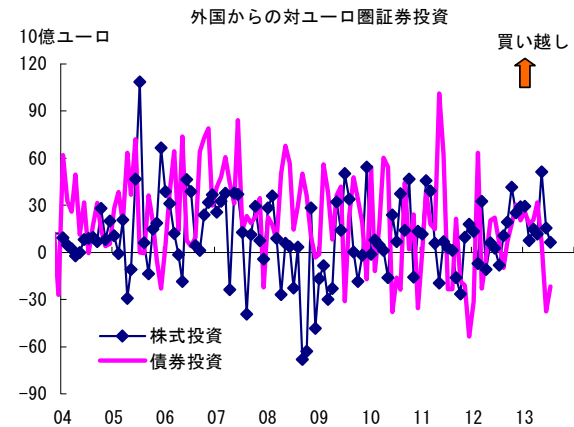
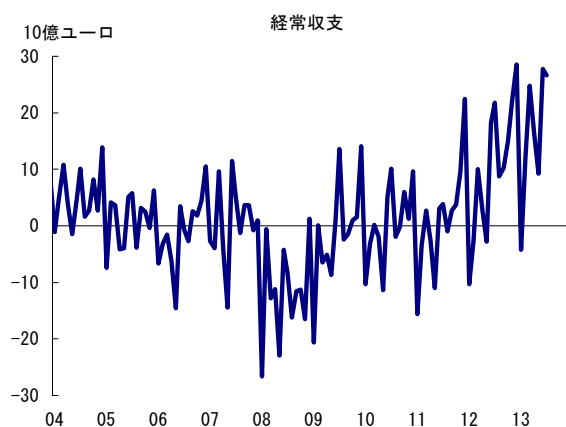
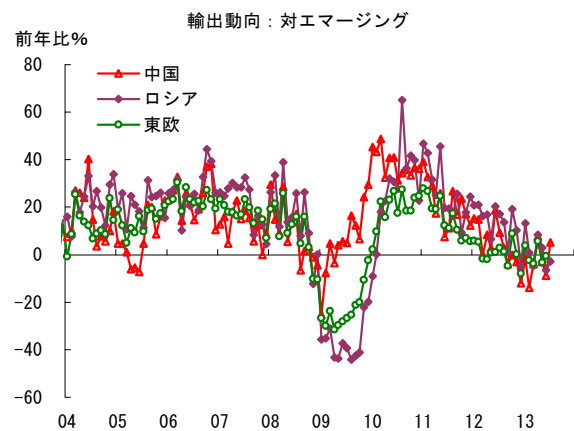
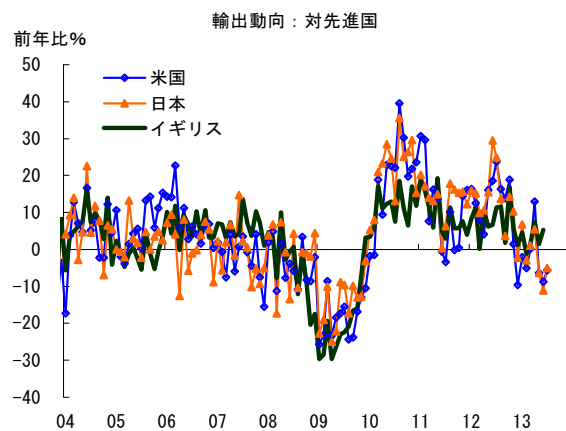
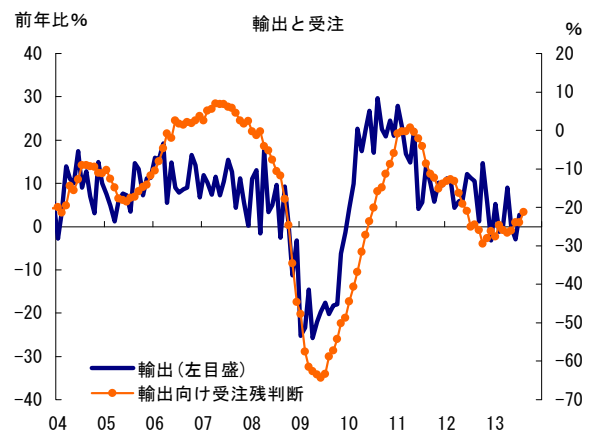
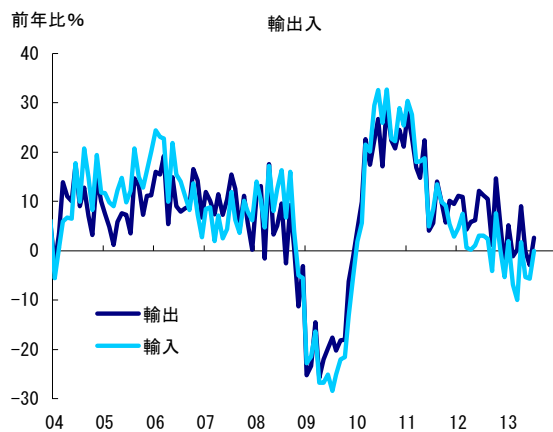
- 8月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.7%と2か月連続の減速。主要因は、輸送セクター（特に燃料）と服飾品（特に衣類）の価格低下
- 8月の生産者物価上昇率は3か月続いた上昇トレンドから減速に転換。販売価格は前年比+1.6%。原油価格のマイナス寄与により、仕入価格は同+2.8%まで減速
- 7月の輸入物価上昇率は前年比+2.3%。8月のポンドの名目実効為替レートは上昇に



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

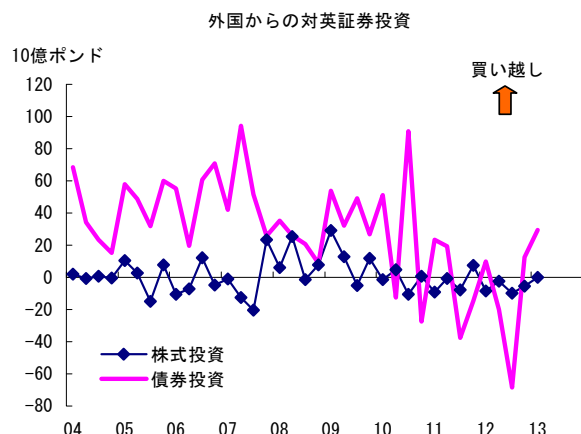
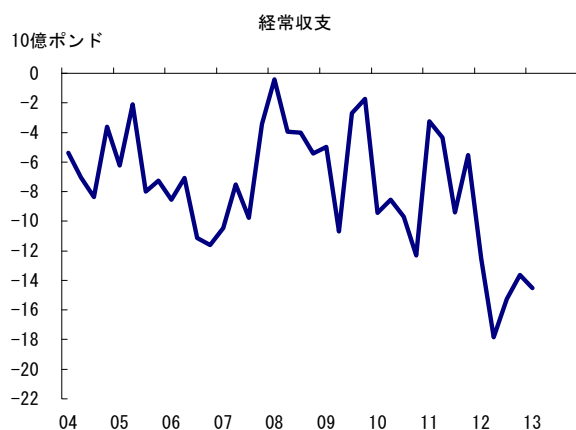
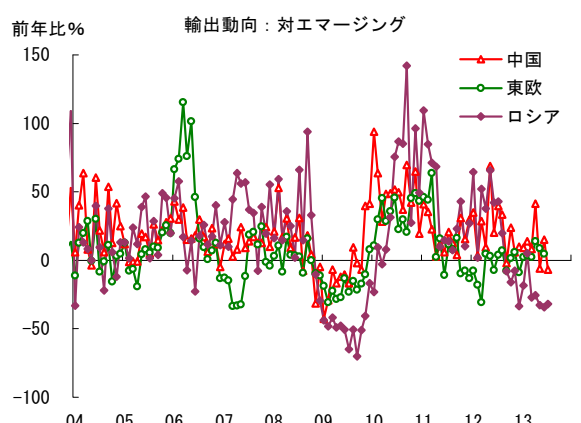
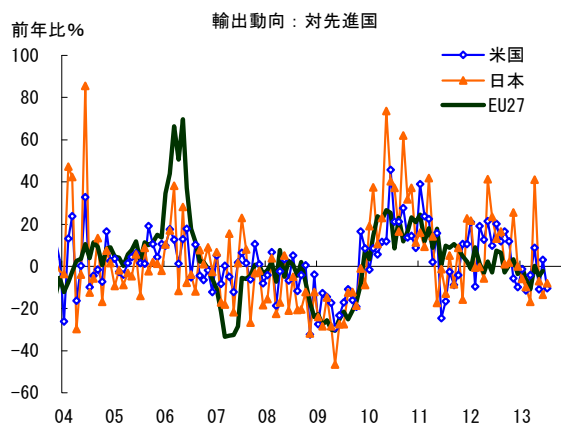
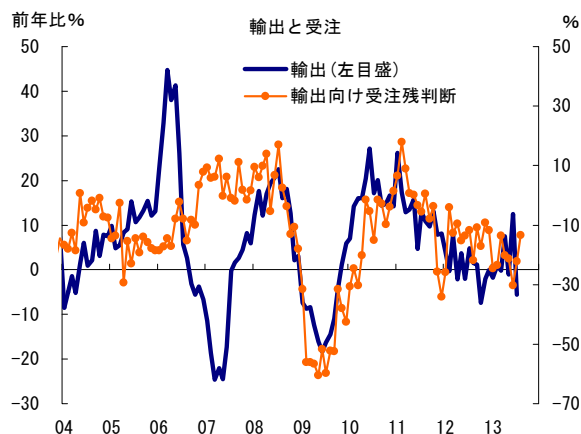
- 7月の輸出は前年比+2.7%と3か月ぶりのプラス転換、輸入は同-0.0%と下落幅が縮小。ともに工業製品の回復が主要因。8月の輸出向け受注残判断は4か月連続の改善
- 国別輸出動向を見ると、米国、日本向けの前年割れが継続。対エマージングではロシア向けの前年割れは続くが、中国向けは前年比プラスに回復
- 7月の経常収支は266億ユーロとなり、6月と同様の高水準を維持。外国からの対ユーロ圏証券投資は債券投資の不振により、2か月連続の売り越し



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 7月の輸出は前年比-5.5%と再び前年割れ。6月に大きく伸びた工業製品が前年割れに転じ、大幅なマイナス寄与となった。輸入は同+3.3%とプラス成長が続く
- 国別輸出動向を見ると、米国及び中国向けは前年比割れに転じた。日本及びロシア向けの減少傾向は変わらず
- 8月の輸出向け受注残判断は、2か月連続の前月比改善



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成